

会社説明資料



株式会社 札幌北洋ホールディングス

(東証第一部・札幌証：8328)

目次

●プロフィール

札幌北洋グループの概況	…1
札幌北洋グループの位置づけ①	…2
札幌北洋グループの位置づけ②	…3
北海道における札幌北洋グループ	…4

●業績の推移

(ご参考) 銀行の損益	…5
2010.3期業績と2011.3期の業績予想	…6
不良債権の状況	…7
有価証券の状況	…8
自己資本比率の推移	…9

●商品・サービスの展開

個人のお客様とのお取引①	…10
個人のお客様とのお取引②	…11
個人のお客様とのお取引③	…12
法人のお客様とのお取引①	…13
法人のお客様とのお取引②	…14

●CSRへの取組み

CSR（企業の社会的責任）への取組み	…16
環境への取組み①	…17
環境への取組み②	…18
地域医療・金融教育への取組み	…19

●株主還元

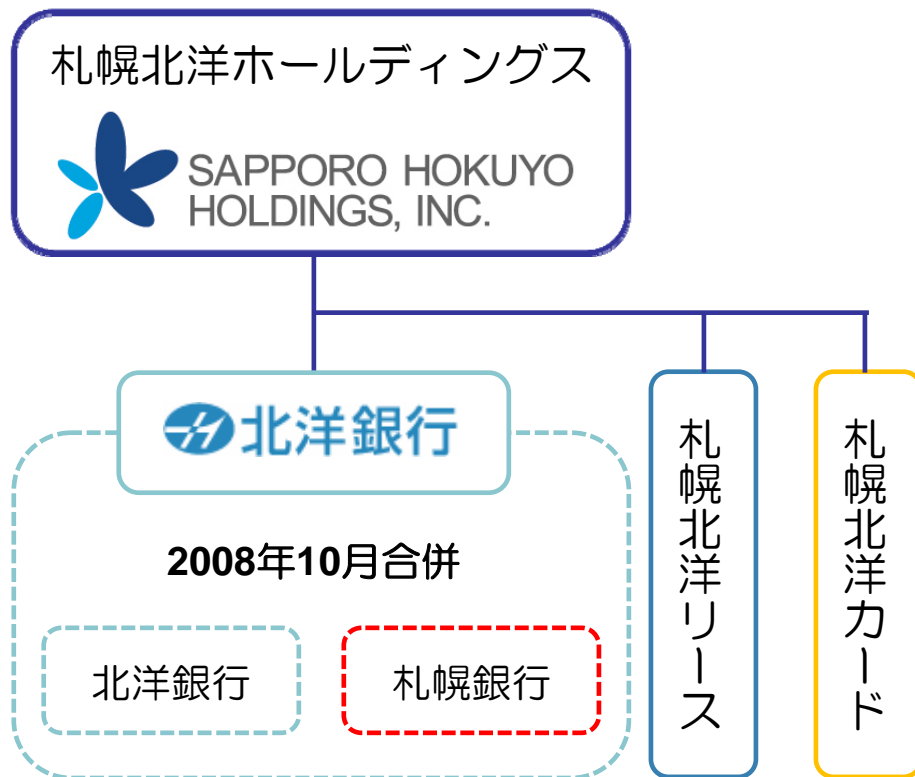
配当方針	…20
------	-----

札幌北洋グループの概要



○札幌北洋グループは「北洋銀行・札幌北洋リース・札幌北洋カード およびその子会社」で構成されます。
 ○なお、北洋銀行と札幌銀行は**2008年10月**に合併しております。

【グループの構成】

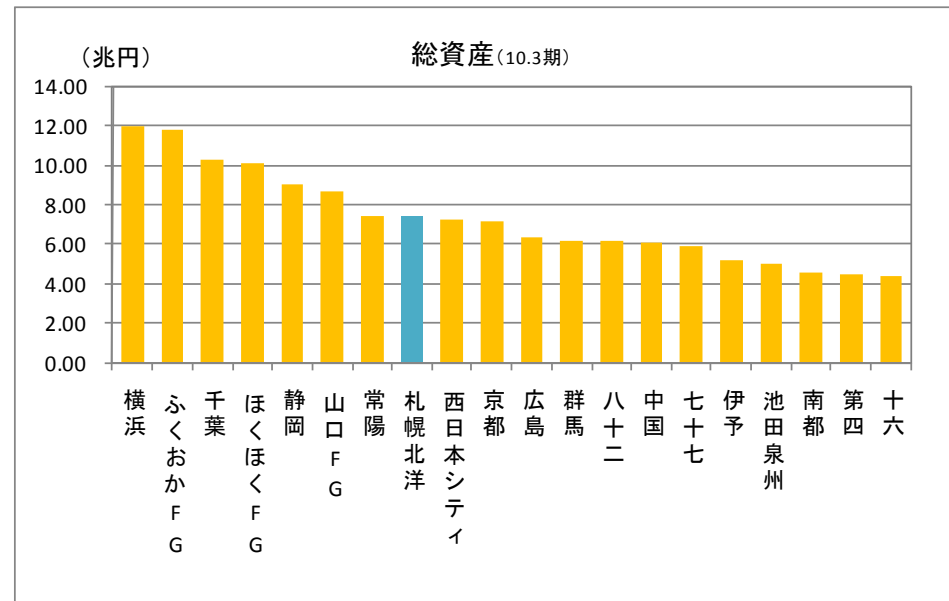


【沿革】

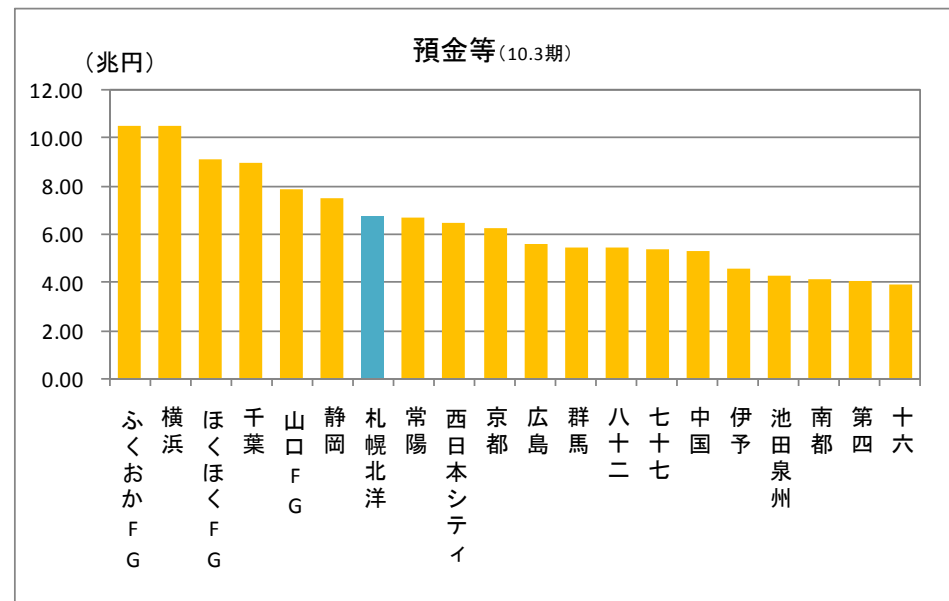
1917年	北洋銀行	「北海道無尽」として設立、後に「小樽無尽」「北洋無尽」と商号変更
1950年	札幌銀行	「北海道無尽」として設立
1951年	北洋・札幌銀行	相互銀行に転換
1989年	北洋・札幌銀行	普通銀行に転換
1998年	北洋銀行	北海道拓殖銀行の北海道内の営業を譲り受け
2000年	北洋・札幌銀行	包括的業務提携
2001年	ホールディングス	設立
2002年	ホールディングス	第三者割当増資（102億円）を実施
2005年	ホールディングス	公募増資（246億円）を実施
2008年	北洋・札幌銀行	両行が合併
2009年	ホールディングス	株式分割、単元株制度の採用

札幌北洋グループの位置づけ①

・総資産は7.3兆円で、地域銀行のなかで8番目の規模となっております。

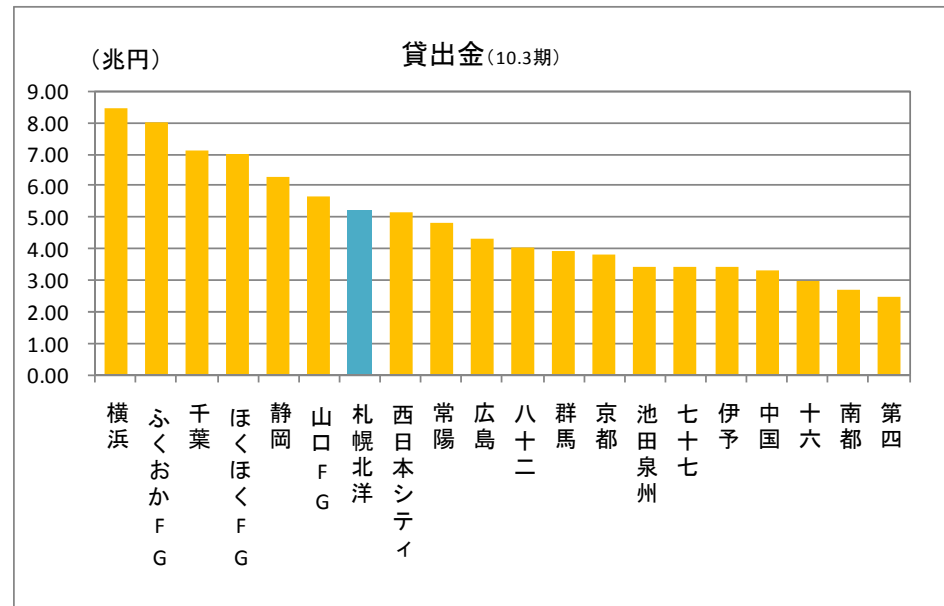


・預金等（預金+譲渡性預金）は6.8兆円で7番目の規模となっております。

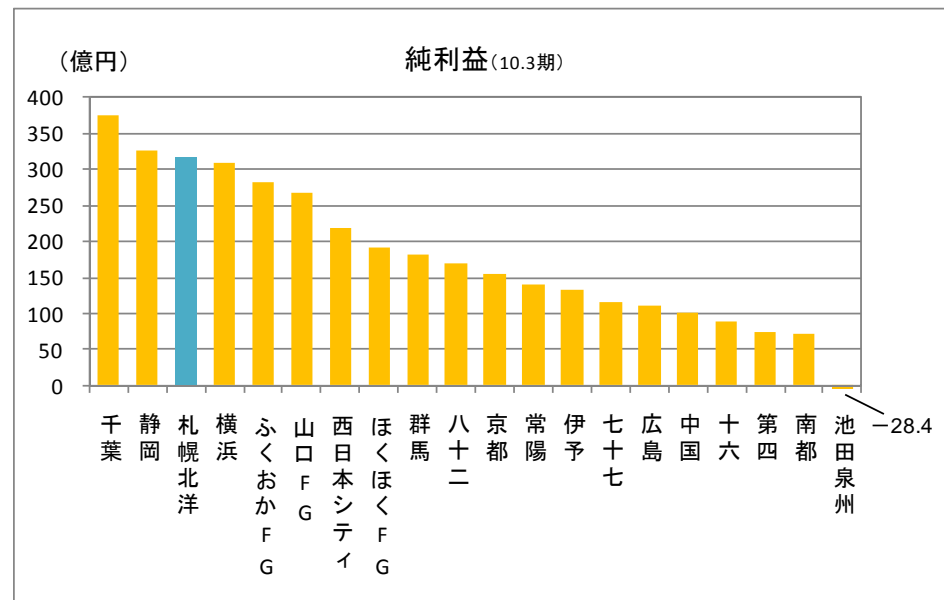


札幌北洋グループの位置づけ②

・ 貸出金は5.1兆円で、地域銀行のなかで7番目の規模となっております。



・ 10.3期の純利益は316億円であり、地域銀行のなかで3番目の水準となりました。

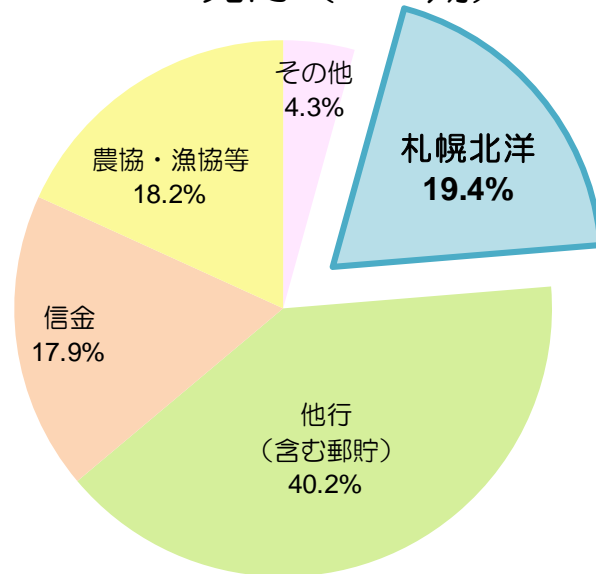


北海道における札幌北洋グループ

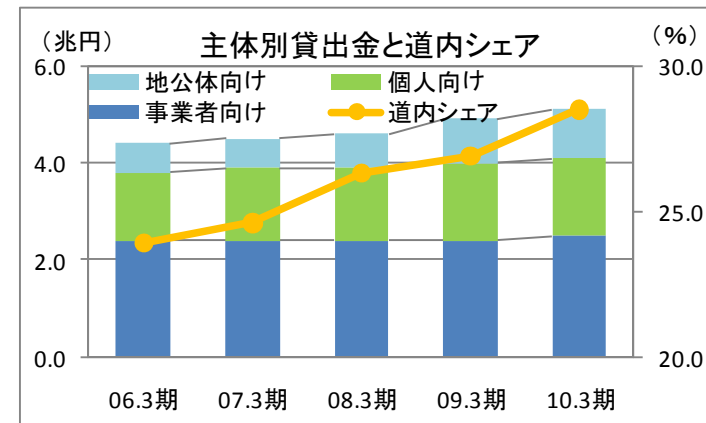
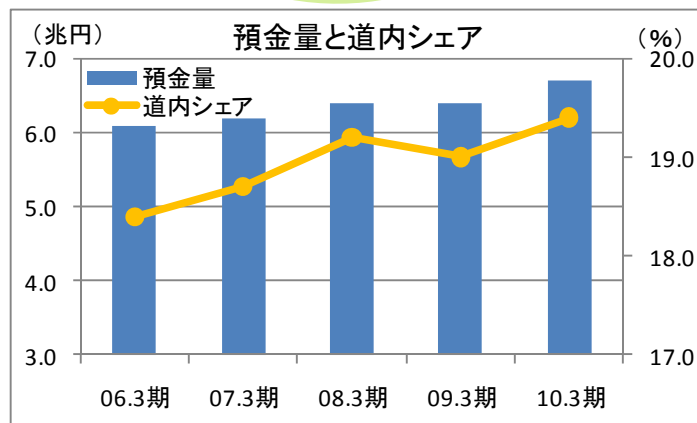
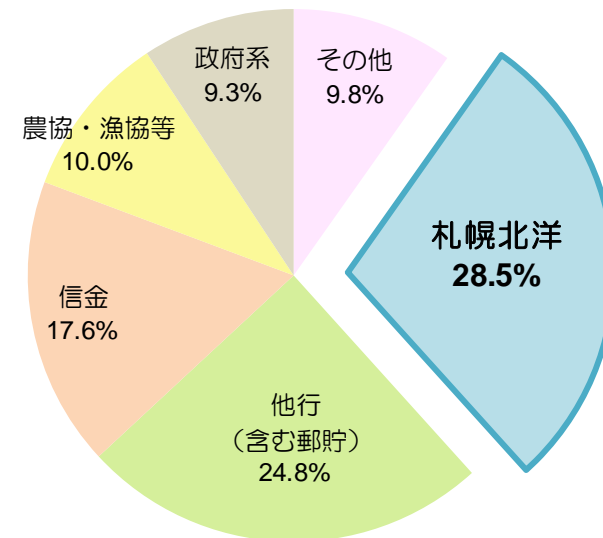


- ・道内での預金シェアは約2割、貸出金シェアは約3割となっております。

道内預貯金
34.7兆円（10.3期）



道内貸出金
17.6兆円（10.3期）



「他行」は、道内に本支店のある20行とゆうちょ銀行の合計
 「農協・漁協等」は、信用農業協同組合連合会、農業協同組合、信用漁業協同組合連合会、漁業協同組合の合計(「農協・漁協等」は10.1末計数を使用)
 「政府系」は、日本政策金融公庫、日本政策投資銀行、住宅金融支援機構 「その他」は信用組合、労働金庫、商工中金

(ご参考) 銀行の損益

【一般事業会社】

売上高
△売上原価
売上総利益
△販売費および一般管理費 (うち人件費)
営業利益
+ 営業外収益 △ 営業外費用
経常利益
+ 特別利益 △ 特別損益
△ 法人税等
当期純利益

【銀行】

資金利益
役務取引等利益
その他業務利益 (うち国債等債券関係損益) ※①
業務粗利益
△ 経費 (うち人件費) (うち物件費) (うち一般貸倒引当金繰入額) ※②
業務純益
+ 臨時収益 △ 臨時費用
経常利益
+ 特別利益 △ 特別損益
△ 法人税等
当期純利益

貸出金利息収入や有価証券利息配当金から預金支払利息や借入金利息を差引いた利益

受入為替手数料や投資信託・保険販売など各種手数料収入から支払為替手数料などの費用を引いた利益

外国為替売買や国債等売買、デリバティブ取引に係る損益

一般事業会社の売上総利益に類似
コア業務粗利益：業務粗利益から市況の影響を受けやすい国債等債券関係損益を差引いたもの

銀行本業による利益を表し、一般事業会社の営業利益に類似するもの

コア業務純益：業務純益から市況の影響を受けやすい国債等債券関係損益と過年度の貸倒実績から見積りを行う一般貸倒引当金繰入額を控除した指標

株式等売却益、金銭信託運用益(※③)など

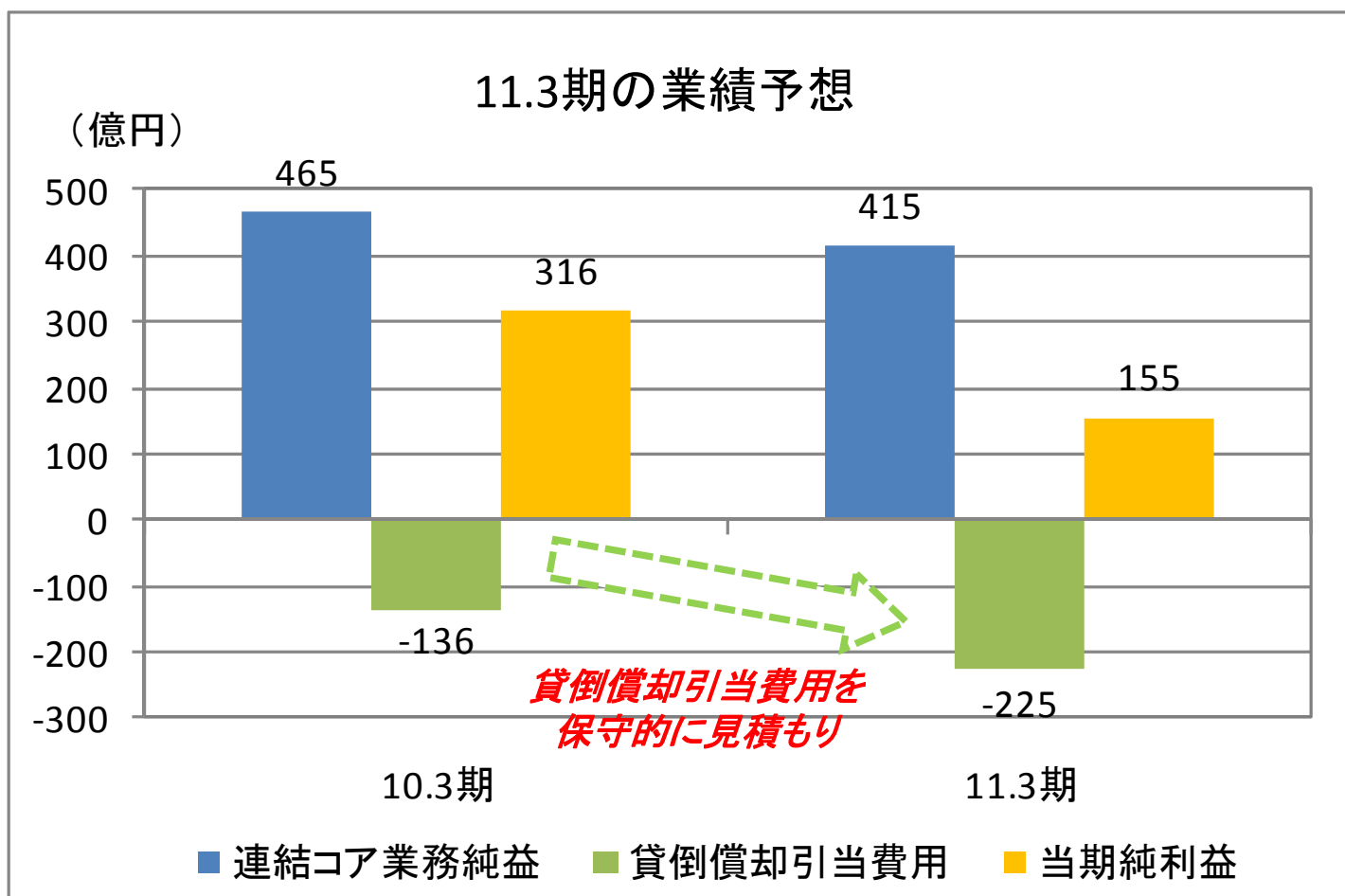
株式等売却損、償却(※④)
貸出金償却(※⑤)など

※貸倒償却引当費用(信用コスト)～②+⑤

※有価証券等関係損益～①+③-④

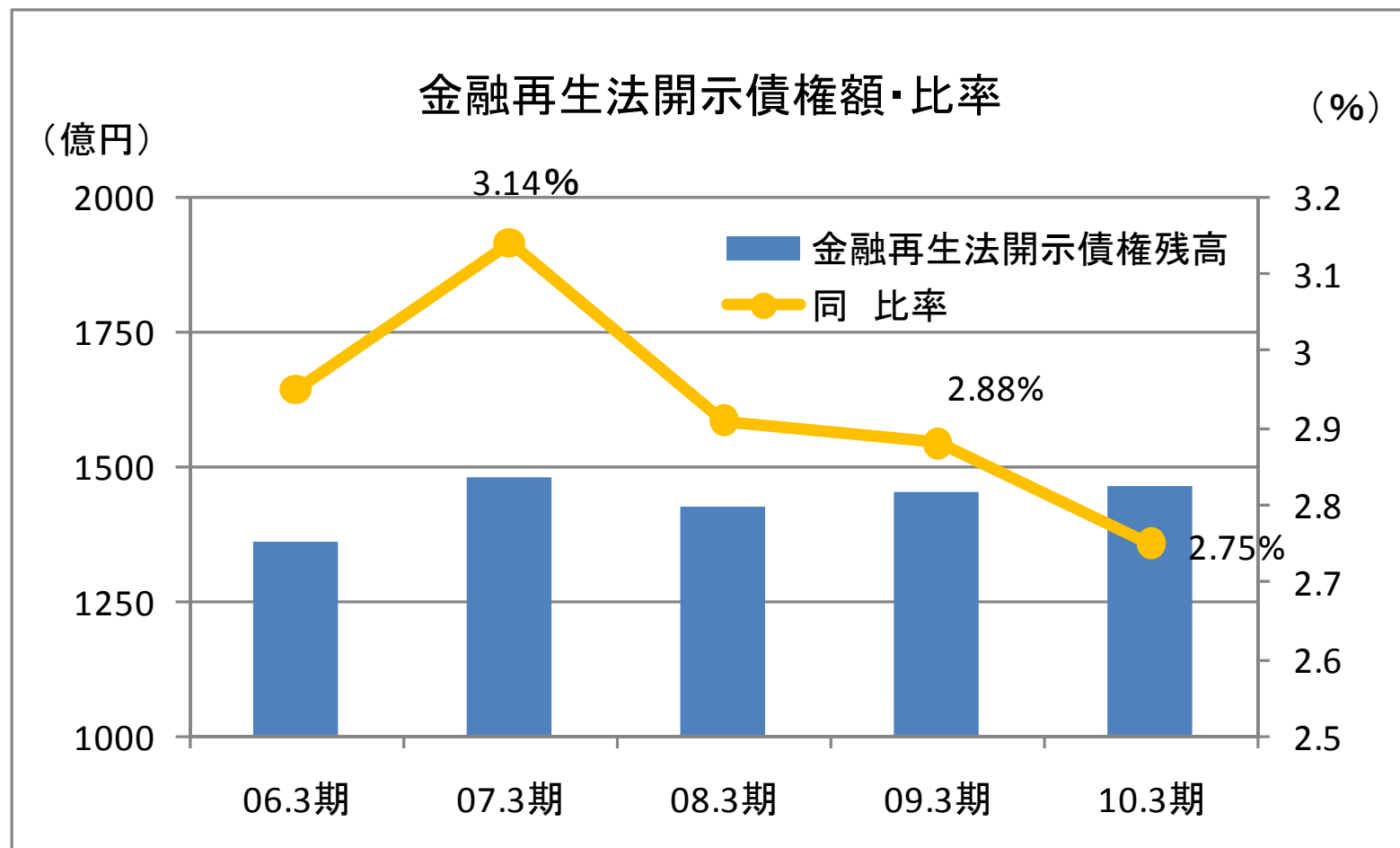
2010.3期業績と2011.3期の業績予想

- ・ 10.3期は貸出金利回りが低下したものの、貸出ボリュームを伸ばすことができたほか、有価証券等関係損益の改善や経費削減努力によって、316億円の純利益を確保しました。
- ・ 11.3期は、現状、大口の貸倒れは見込まれないものの、貸倒償却引当費用を保守的に見積もった結果、当期純利益を155億円と見込んでおります。



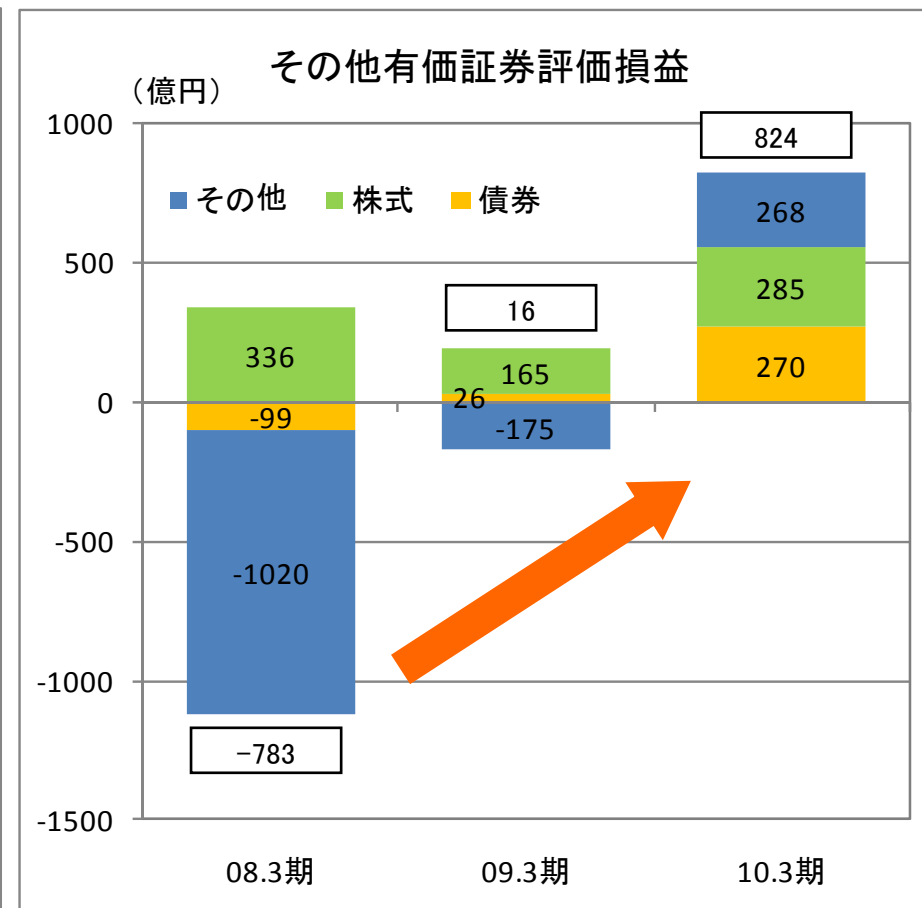
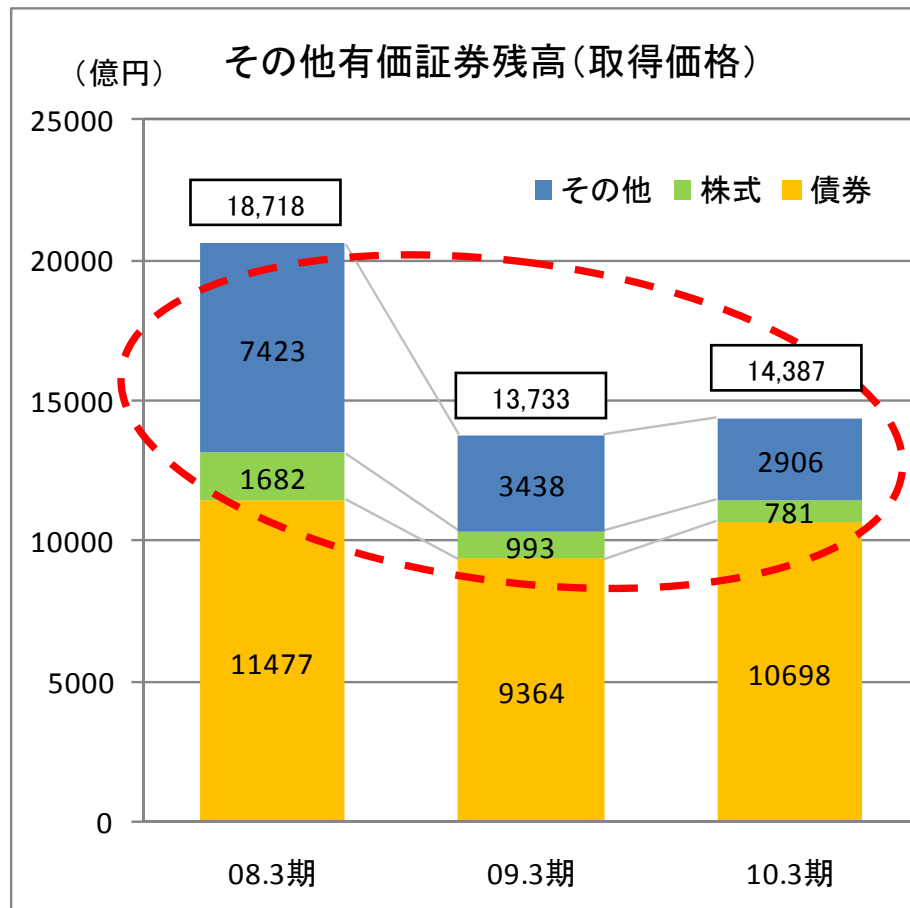
不良債権の状況

・不良債権（金融再生法開示債権）の比率は直近5年間のピーク比で約0.4ポイント低下しています。



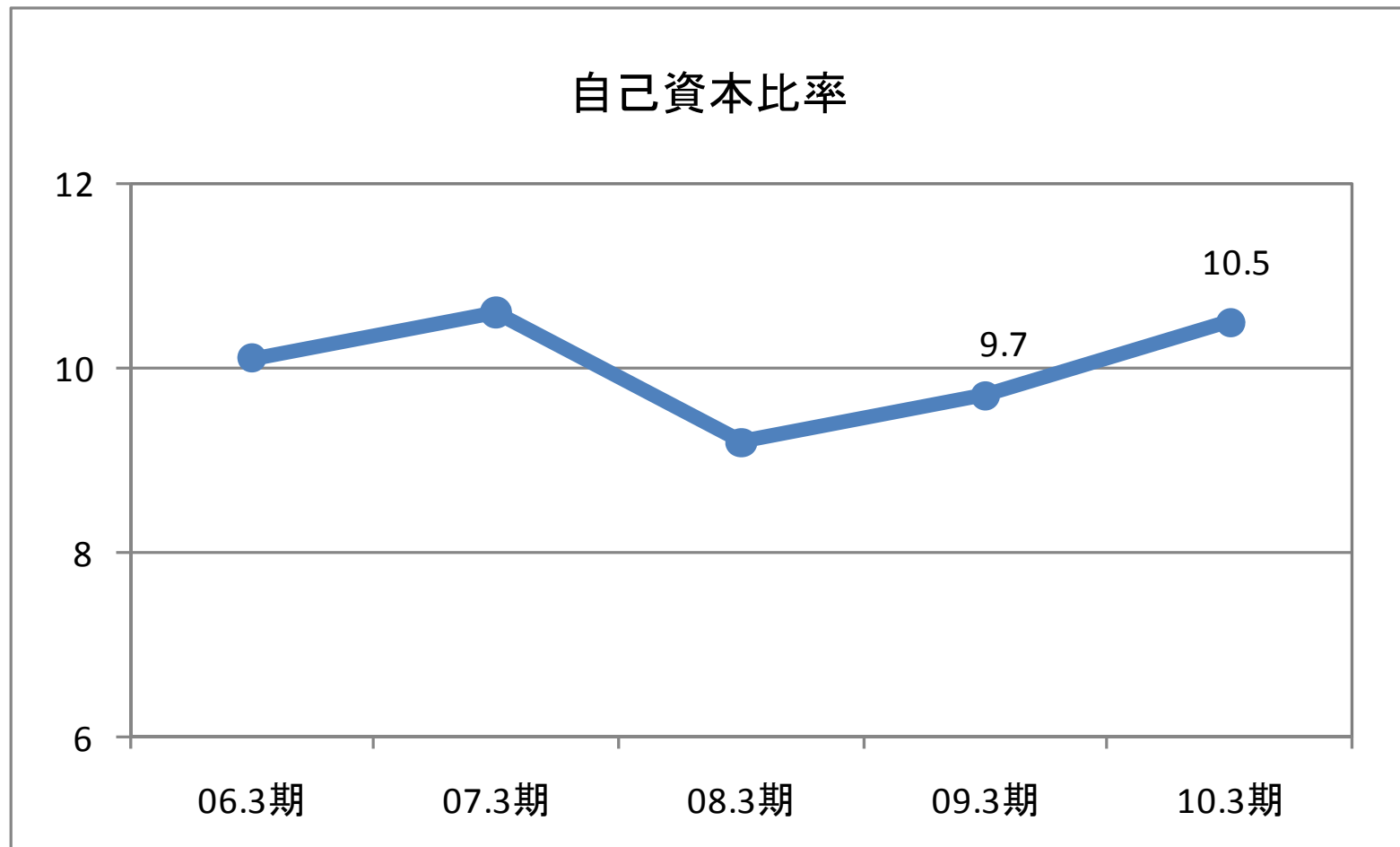
有価証券の状況

・ 価格変動リスクの高い、外国株式や外国債券を中心に削減をすすめ、10.3期の評価損益は824億円のプラスとなっております。



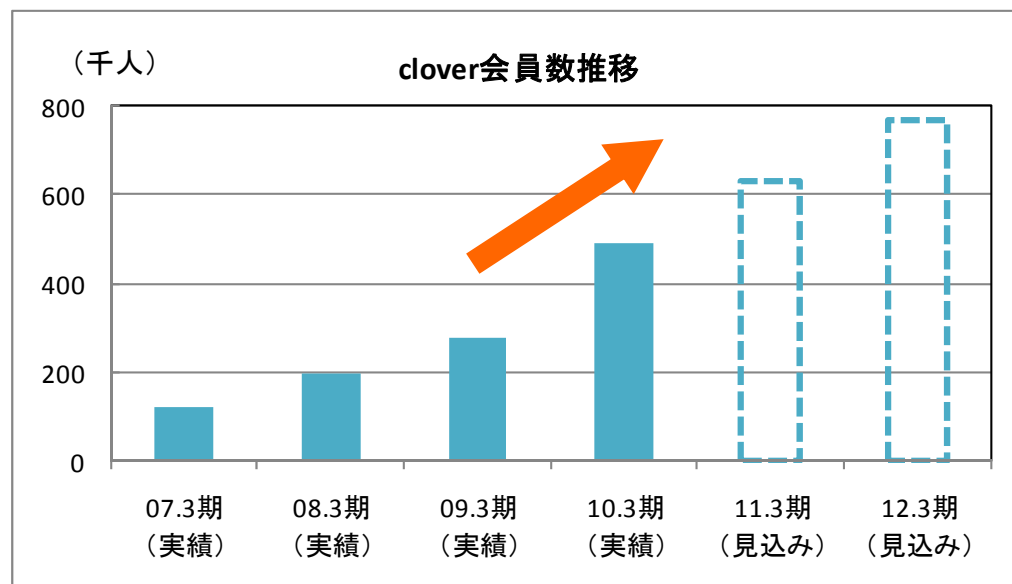
自己資本比率の推移

・ 10.3期の自己資本比率は10%台に回復。引続き利益の積上げにより、内部留保の拡充を図り、健全性を高めてまいります。

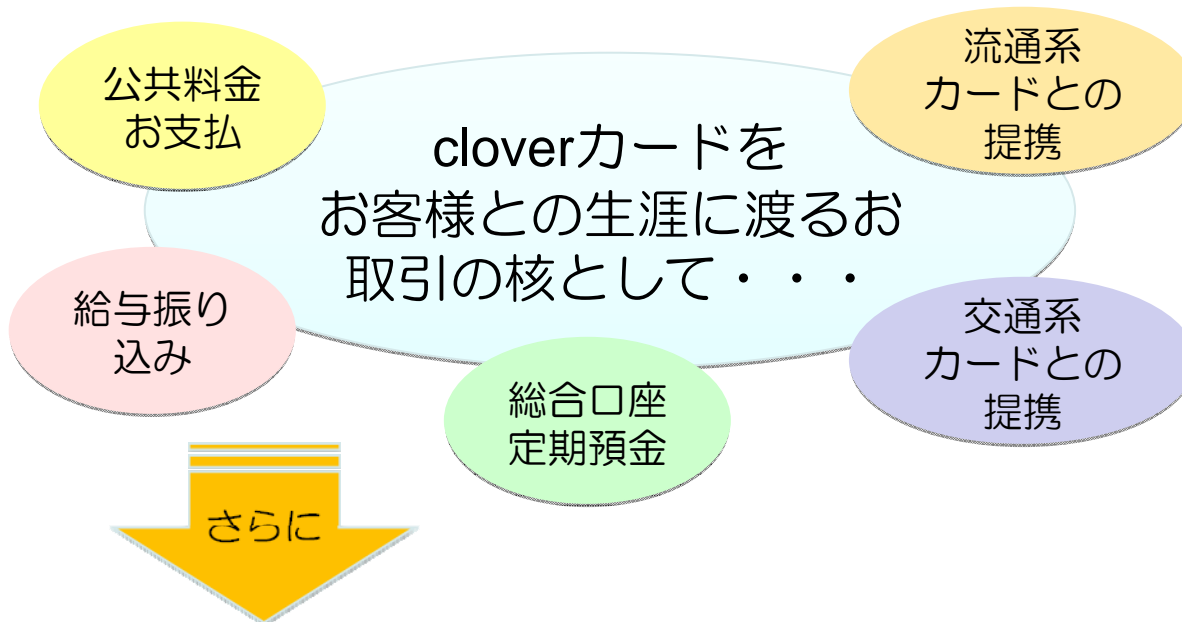


個人のお客様とのお取引①

～clover（銀行本体発行クレジットカード）を軸として



コープさっぽろとの提携カード
「cloverトドック」



札幌市営地下鉄カード「SAPICA」に電子マネー機能を付加した「clover/SAPICA（仮称）」発行の基本合意

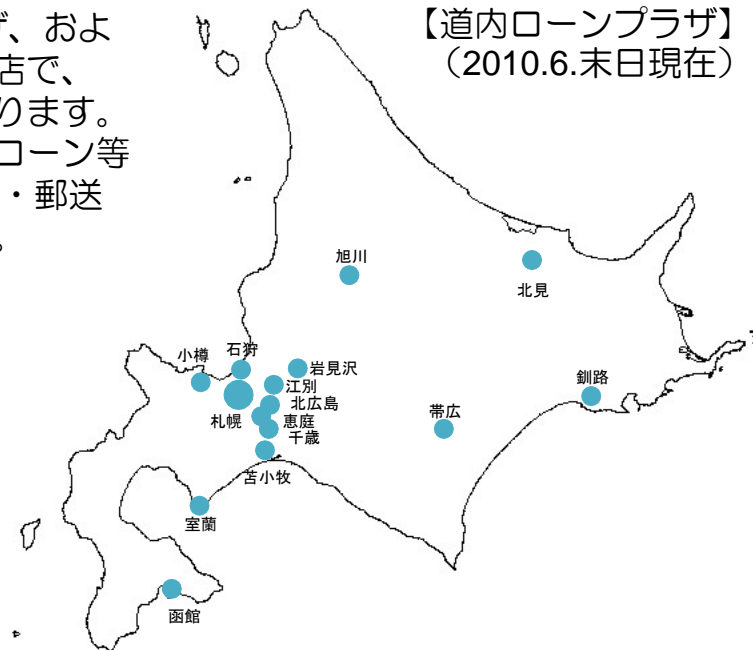
個人のお客様とのお取引②

～生涯にわたるパートナーとして・・・ローンのご相談

住宅ローンほか
各種ローンの
ご利用

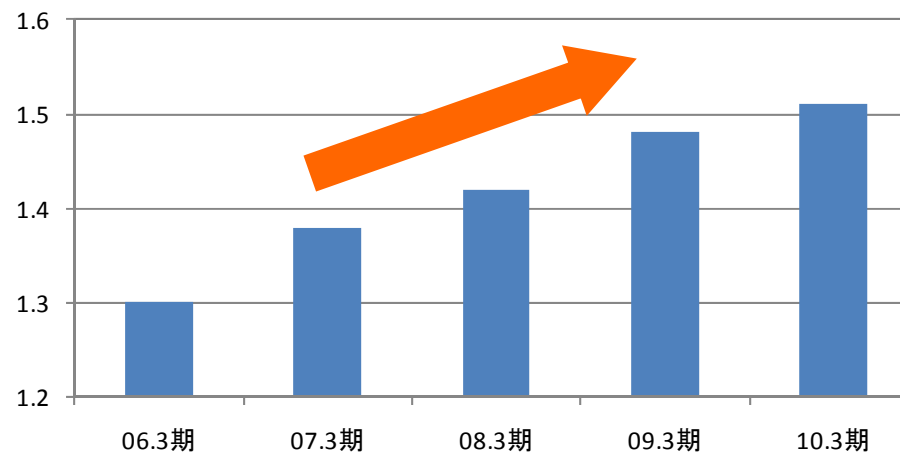
全道29ヶ所のローンプラザ、および最寄りの北洋銀行全営業店で、ローンのサポートをしております。また、自動車ローンや教育ローン等は、インターネットやFAX・郵送でもお申込みいただけます。

【道内ローンプラザ】
(2010.6.末日現在)



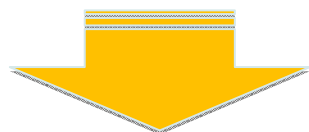
さらに

(兆円) 住宅ローン残高



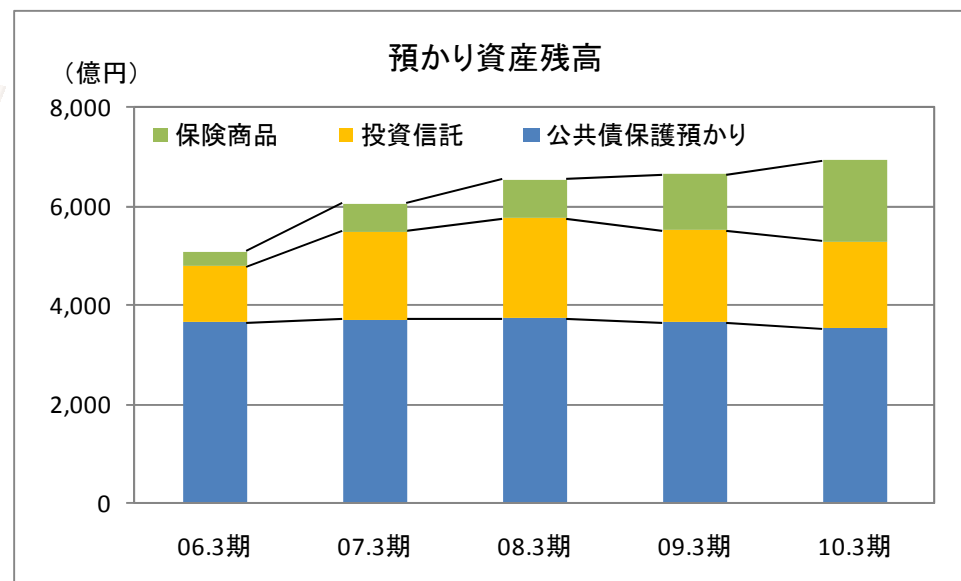
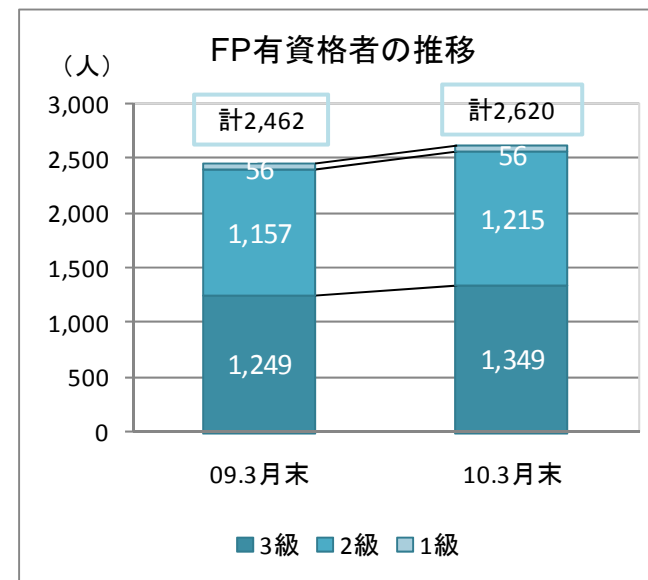
個人のお客様とのお取引③

～生涯にわたるパートナーとして・・資産運用のご相談



資産運用のご相談
年金のお受取り

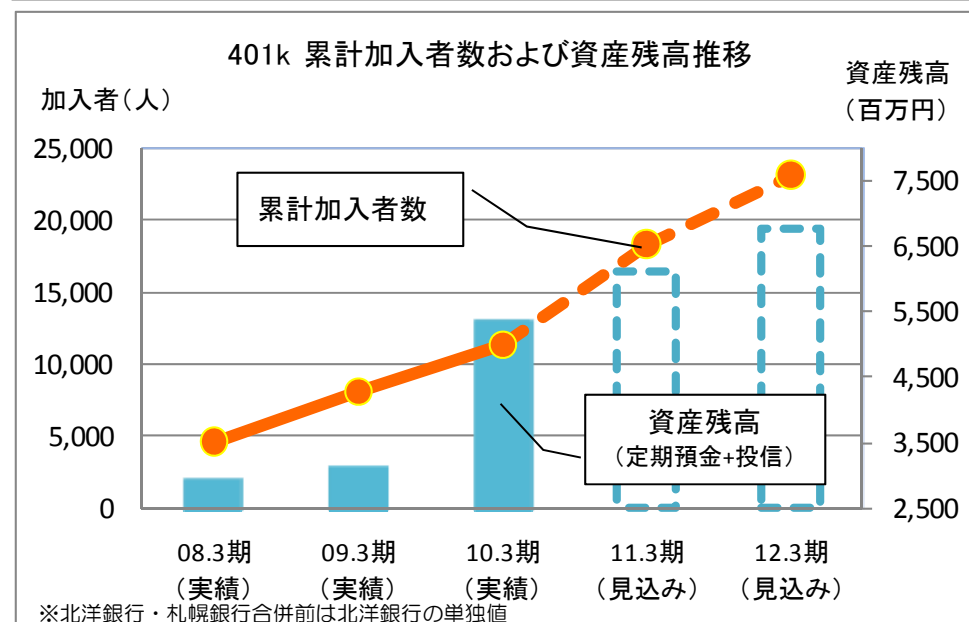
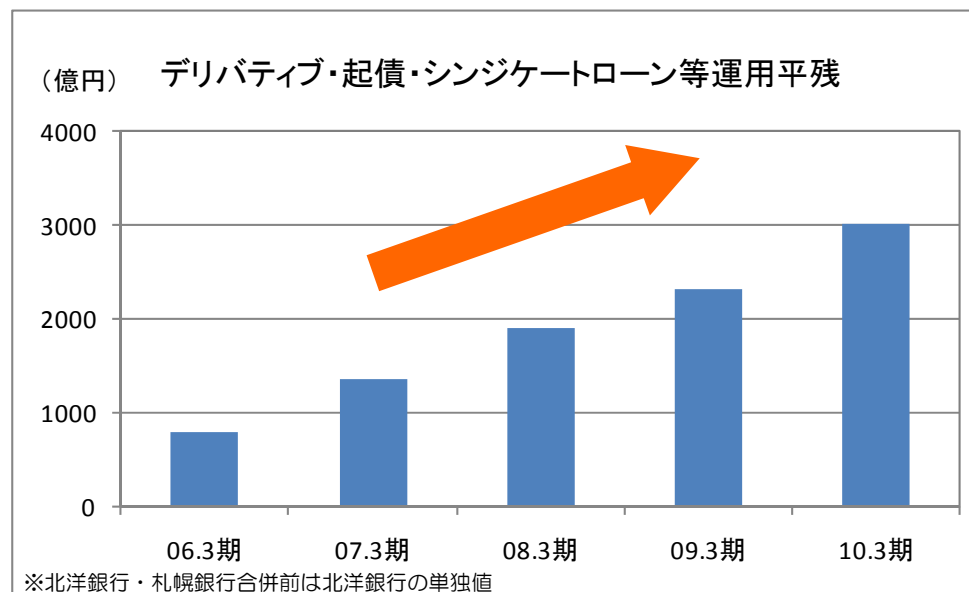
ゆったりとご相談いただける
コーナーで、ファイナンシャル
プランナー（FP）等の有
資格者がご相談に応じます。



法人のお客様とのお取引①

～問題解決・提案力の強化

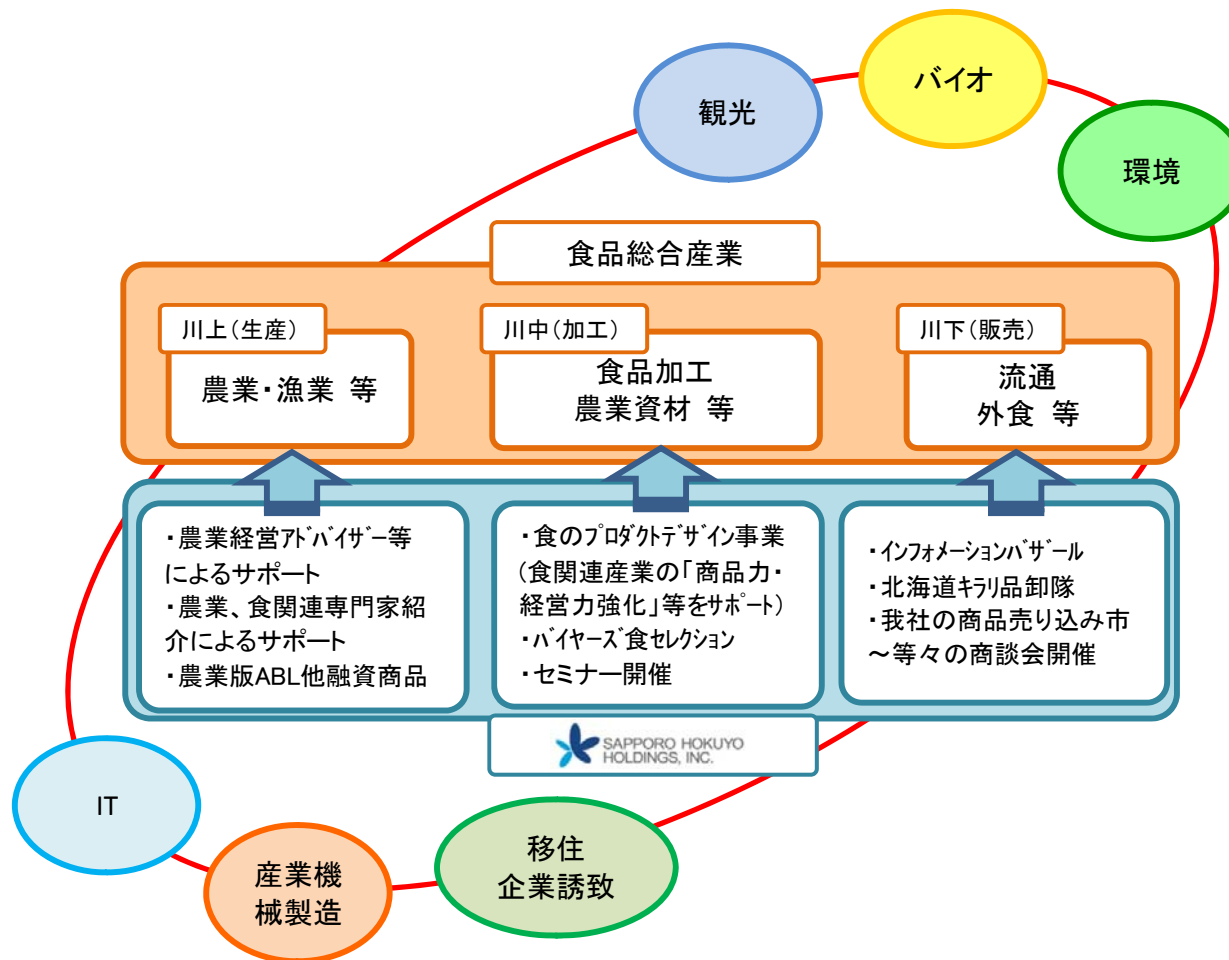
- ・ 私募債、債権の流動化、金融工学を活用した新型ローン等、お客様のニーズに合わせた、多様な資金調達手法をご提案いたしております。
- ・ 適格年金制度の廃止（平成24年3月）に伴い、401k（確定拠出型年金）の導入をサポートしています。
- ・ 事業承継やM&Aのニーズに対しても本部に専担者を5名配置して対応しております。またセミナーや各種勉強会も実施しております。



法人のお客様とのお取引②

～北海道の強みを活かした産業への支援強化

- 北海道の強みである一次産業と食品製造業、食品流通業、外食産業等を「食品総合産業」と位置づけ、これを取り巻く観光産業なども含め、幅広い産業へのご融資・経営アドバイス・販路開拓支援等を強化します。



経営アドバイス
資金調達ご支援
(農業経営アドバイザーによる
財務のアドバイス等)

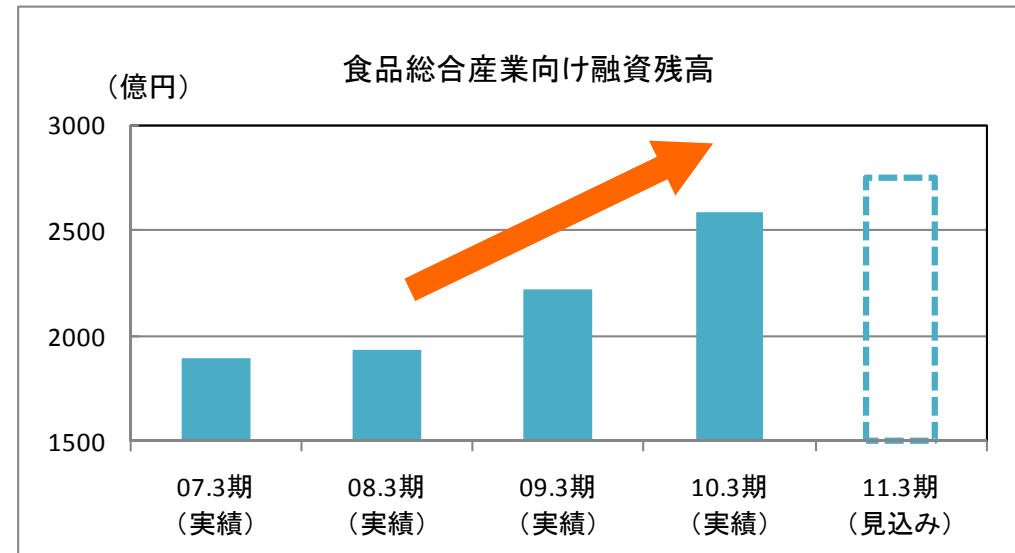
商品加工・高付加価値化へのご支援
(食の専門家による商品開発アドバイス等)



販路拡大のご支援
(商談会による販路拡大の機会提供等)



- ・「食品総合産業」へのご融資残高は着実に増加。これは経済波及効果により北海道の経済活性化にもつながるものであり、さら
に取組みを強化します。
- ・また肉牛、野菜ほかを担保とした新しい資
金調達手段のご提案、ビジネスマッチング
を通じた販路拡大へのご支援、商品開発へ
のアドバイスなどを一層強化してまいります。
- ・さらに、中国ほかとの貿易面も、各種商談
会などを開催してサポートいたします。



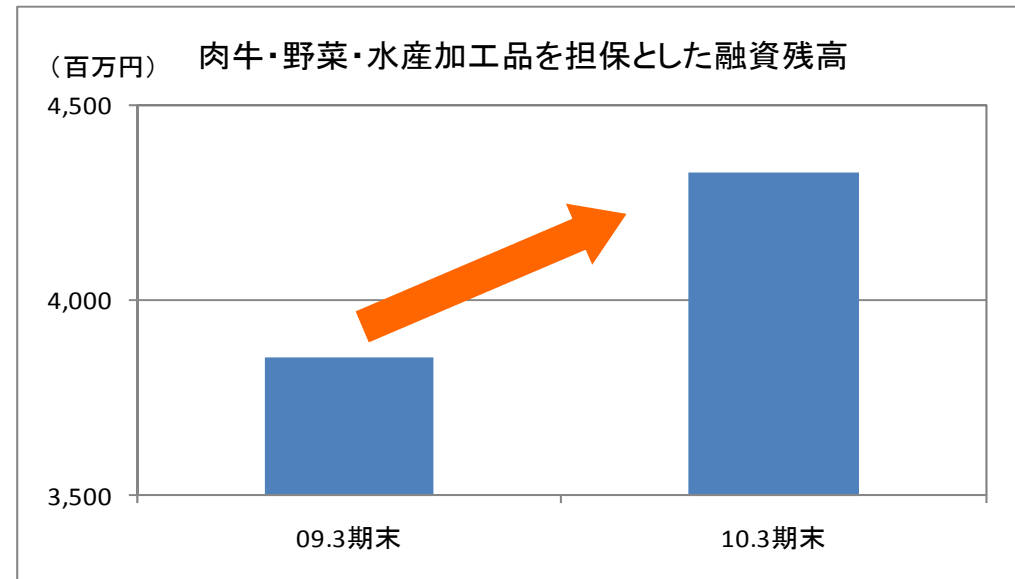
※北洋銀行・札幌銀行合併前は北洋銀行の単独値

○ビジネスマッチング出展者数・来場者数・商談件数推移

	H20年度 (実績)	H21年度 (実績)	H22年度 (見込)
出展者数	171	110	約120
来場者数	約3,300名	約3,500名	約4,000名
商談件数	2,943件	3,832件	

○中国関連商談会開催数・出展者数推移

	H20年度 (実績)	H21年度 (実績)	H22年度 (見込)
開催数	7回	6回	10回程度
出展者数	延べ73	延べ25	



CSR（企業の社会的責任）への取組み

～3つの柱「環境」「地域医療」「金融教育」

- ・当グループのCSRのキーワードは「未来」「インテグリティ（誠実）」「共存共栄」です。
- ・これを実現するため、当グループでは「環境」「地域医療」「金融教育」を柱として、様々な活動に取り組んでおります。



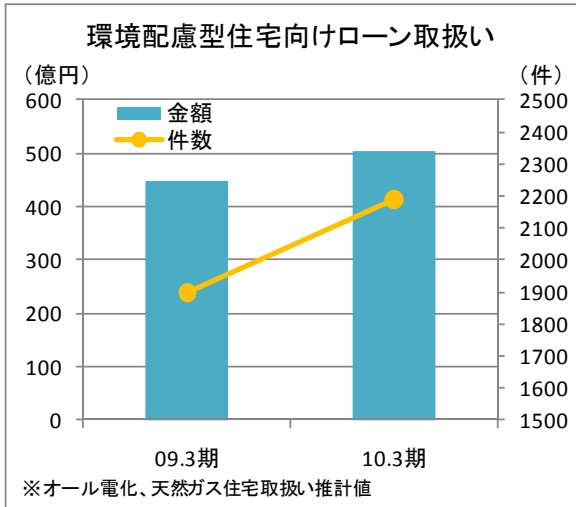
FTSE4Good

- ・当グループ株式は世界的な社会的責任投資の指数で、CSR（企業の社会的責任）に関心を持つ投資家の重要な投資選択基準となっている「FTSE4Good」の構成銘柄に採用されています。

環境への取組み①

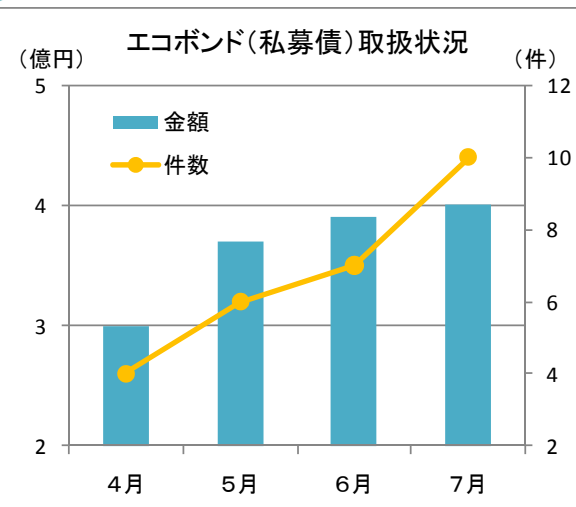
～資金調達へのご支援

【個人のお客様向け・・・環境配慮型住宅への特別金利、エコカーローン、エコリフォームローンなど】



環境・省エネに配慮した住宅の建設、エコカー購入およびエコリフォーム等に取り組まれるお客様へのご融資にあたっては、特別金利でご支援しております。

【法人のお客様向け・・・エコボンド（私募債）、環境格付融資、北洋銀行ドリーム基金^{※1}、PFI^{※2}など】



旭川市立高台小学校の自然エネルギーを最大限活用した校舎建設資金の支援

一定基準を満たす、環境保全に取り組むお客様が、有利な条件で資金調達できるエコボンド（私募債）や環境格付融資に取り組んでおります。また公共施設建設関連では、省エネに貢献できる事業に積極的に参加し、ノウハウを提供しております。

※1～北洋銀行ドリーム基金・・・道内中小企業の新技术・新製品開発の助成基金

※2～PFIとは公共施設等の建設、管理、運営等を民間の資金、ノウハウを活用して行う手法

環境への取組み②

～預金・預かり資産を通じた取組み、当グループ自身の取組み

【預金・預かり資産を通じた取組み例】

○ほっくー定期預金



基準日残高の0.01%相当額および1件につき50円を「ほっくー基金」に拠出
(9月より取扱開始)



道内の希少生物保護へ



「ほっくー定期」のほか、環境関連優良企業を投資対象とする投資信託「エコファンド」なども発売しております。

【当グループ自身の取組み例】

○「ひろえば街が好きになる運動」へ参加



JT（日本たばこ産業株）が主催する市民参加型清掃活動に参加・協力しております。

○古紙リサイクル



北洋銀行の保管期間の過ぎた書類は、厳重なセキュリティの下に破断機で機密処理して、トレットペーパー等としてリサイクルされています。

上記のほか、営業車両の低公害車への入替え、省電力機器への入替えなどを実施しております。

地域医療・金融教育への取組み

【地域医療への取組み】

○北海道との「がん対策推進協定」

がんに対する正しい知識の普及リーフレットの配布、がん検診受診勧奨メッセージ入りPR品配布により、がん撲滅への取組みに協力しております。

○医療・福祉支援室の設置

地域の医療機関や福祉・介護事業者の皆さまへの資金面でのご支援、情報提供、開業支援などを目的に「医療・福祉支援室」を新たに設置いたしました。



【金融教育への取組み】

○北海道教育大学との共同研究

①金融に関して体系的に学ぶための教材開発、②金融教育ができる教員を育てるためのプログラム作成を目的として、北海道教育大学と共同研究を行っております。

○各種金融教育の実施

平成16年以降、各教育機関で金融教育を実施しており、これまで約2,000名の皆さまに授業を行ってまいりました。また各営業店でも随時、児童・学生の見学を受入れております。



配当方針等

【2011.3期 配当について】

・当社は2008年3月期から業績に連動して配当を決定する方式を導入しました。しかし、その後の公的資金の導入に伴い、内部留保の積上げを優先せざるを得ない状況にあることや、道内経済の先行き不透明さなどを踏まえ、2011年3月期の配当は、差当り2010年3月期と同様に、年間3円と発表させていただいております。

・但し、着実に当期純利益を確保して内部留保の積上げを図りながら、環境が整えば、株主の皆さまへの利益還元を極力図って参りたいと考えております。

	2010.3期（実績）			2011.3期（予定）		
	中間	期末	年間	中間（予定）	期末（予定）	年間（予定）
配当金 （1株あたり）	1.5円	1.5円	3.0円	1.5円	1.5円	3.0円
連結当期純利益 （億円）	316			155（予想）		

本日はご多忙の中、
株式会社札幌北洋ホールディングスの
会社説明会にお越しいただき、
誠にありがとうございました。

株式会社 札幌北洋ホールディングス

◆ e-mail ir@sapporohokuyo.co.jp

◆ ホームページ <http://www.sapporohokuyo.co.jp>